

一般質問を傍聴しませんか？

日時 令和5年12月12日(火) 午前10時開議

場所 別海町議会議事堂（別海町総合庁舎4階）※庁舎玄関に入りましたら左側に向かい、町民課前のエレベーターをご利用ください。

【傍聴の手続】

- 傍聴当日に、傍聴席入口前の簡易な受付票に必要事項を記載願います。住所、氏名の記載は、必要ありません。
- 傍聴席が満席になった場合や混雑が予想される場合は、傍聴券を配布いたします。先着順の案内をさせていただき、傍聴席が満席になった後は、空席ができれば、傍聴券の番号順に案内いたします。傍聴席が空いていない場合は、議場外のモニター前の席などを案内させていただきます。
- 一般質問における団体の傍聴は、事前に議会事務局へお申し込みください。

【傍聴時の注意】を裏面に記載しておりますのでご覧ください。

問い合わせ先 別海町議会事務局 0153-74-9854（直通）

通告1番 田村 秀男 議員【一問一答方式】12月12日(火曜日) 午前10時登壇予定

1 どうするゼロカーボン

- ①小中学校における「カーボンニュートラル教育」の今までの実態と宣言後の教育方針について。
- ②カーボンニュートラルについて、目標を達成するために各分野での住民や団体及び事業者に対する協力依頼やそれに対する支援策の考え方を。
- ③環境省によると、2050年までに必要電力の50～60%を再生可能エネルギーで補うことを目標にしているが、本町の今後の新エネルギービジョンは。
- ④公共施設、街路灯及び公園灯におけるLED化の進捗状況を。
- ⑤化石燃料を使用している本町の公用車を、電気自動車など次世代自動車への導入を推進する考えは。
- ⑥地域の林地残材を活用した木質バイオマスを原料とする木質チップボイラー導入の考えは。
- ⑦町全体の取組を現代の社会にマッチした住民、団体、事業者、そして町が一丸となって推進できるように、今後の別海町のあるべき姿を描いた「別海町エコタウン構想」（仮称）を策定するのが必要不可欠と考えるが、町長の見解を。



通告2番 中村 忠士 議員【一問一答方式】12月12日(火曜日) 午前中登壇予定

1 矢臼別演習場などにおける演習・訓練について

- ①西春別駅前市街地に隣接する計根別着陸場が米軍輸送機の輸送・離着陸訓練に使用されたが、町は事前に、住民の安心・安全確保のための働きかけを関係機関に行ったか。行ったとしたら、どこにどのような働きかけをして、その結果はどうだったのか。
- ②C-130の運行、HIMARSの陸路移送について、町として事前に情報を伝えるよう関係機関に求める働きかけはしたのか。また、その結果はどうだったのか。
- ③地域住民の様々な質問・疑問に答えられる様、海兵隊移転訓練時演習場内に設置される防衛局による現地対策本部のような窓口を、日米共同訓練時においてもつくってほしいという要望に対し、町も関係機関に設置を求めていくということだったが、10月の共同訓練に際し、町は関係機関にどこにどのような働きかけをしたのか。また、その結果はどうだったのか。
- ④米軍関係の演習・訓練が拡大されてきているが、町は、演習・訓練の拡大を事実として認め、縮小を関係機関に求める必要があると思うが、町長の見解を。

2 土地利用規制法について

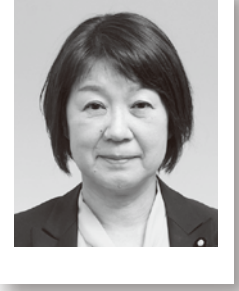
- ①土地利用規制法に基づく「注視区域」「特別注視区域」指定に関し、別海町に対してこれまでどのような連絡、打診、提示などがあったか。
- ②町内には、自衛隊駐屯地や着陸場、演習場など重要施設があり、それらが注視区域、特別注視区域に指定された場合、大きな影響が町民に及ぶことになると思うが、どういう影響が出ると町は考えているのか。
- ③「土地利用規制法」の運用にあたっては、現在合法的に行われている居住や住民活動などに制限が加えられることがないよう、町としても関係機関に強く働きかけるべきと思うが、町長の見解を。

3 自転車乗車用ヘルメット着用を推進するための行政支援について

- ①自転車乗車中の死傷者数の多い若年層と高齢者の着用推進のための支援について考えていく必要があると思うが、町長の見解を。



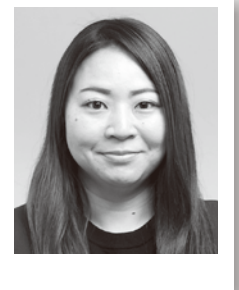
通告3番 高橋 眞結美 議員【一問一答方式】 12月12日(火曜日) 午後登壇予定



1 訪問介護サービスの現状と課題について

- ① 昨年12月に、町が主体となって介護サービス事業所で構成する連絡協議会を設立し、協議会と町が連携をして様々な課題の解決に向けた具体的な協議や取組を進めていきたいと答弁しているが、協議会は発足できたのか。発足しているとしたら、人材不足の課題を含め、どのような課題の解決に向けた具体的な協議や取組が進められているのか、進捗状況を。
また、協議会が発足していないとしたら、今後の設立に向けた協議の経過を。
- ② 介護サービス事業所と連携・協力し、人材確保に向けた様々な取り組みについての内容を。
また、現在協議中の新たな取組があるのか。
- ③ 令和4年12月の定例会において、まずはしっかりと連絡協議会を作って、課題に対応し始めていくことや、介護報酬が追いついていないような事業も合わせ、どこかの時点では、しっかりと財政的な支援も念頭において検討していく必要があると答弁しているが、高齢者が安心してこの町に住み続けるためにも、協議会での課題を早急に洗い出し、その上で思い切った財政的な支援策が必要な時期に来ていると考えるが、町長の見解を。
- ④ 福祉有償運送の取扱いについて、バス・ハイヤー共通利用券の協定事業者に、福祉有償運送を実施している訪問介護事業所を追加して、以前から課題となっていたハイヤー券の地域格差を解消することができないか、町長の見解を。

通告4番 市川 聖母 議員【一問一答方式】 12月12日(火曜日) 午後登壇予定



1 給食費無償化制度の確立について

- ① 外国産やインスタントのものに頼らない、安心安全な献立を軸として献立を考えられる柔軟な予算を確保していくか。
- ② 価格高騰などで予算的理由により、給食費無償化の制度を途中でやめるもしくは、保護者に一部を負担させるなどの制度に切り替わる可能性はないという認識でよろしいか。

通告5番 横田 保江 議員【一問一答方式】 12月12日(火曜日) 午後登壇予定

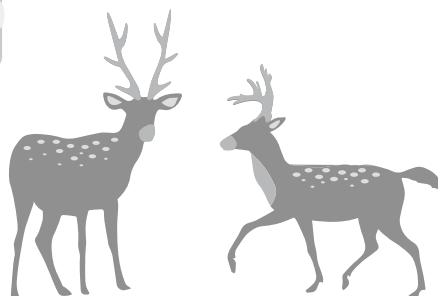
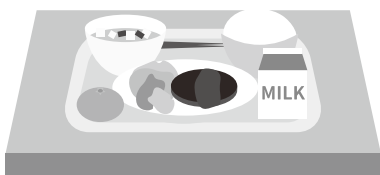
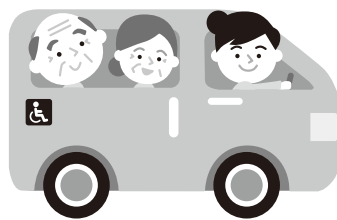
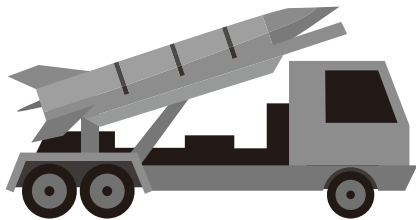
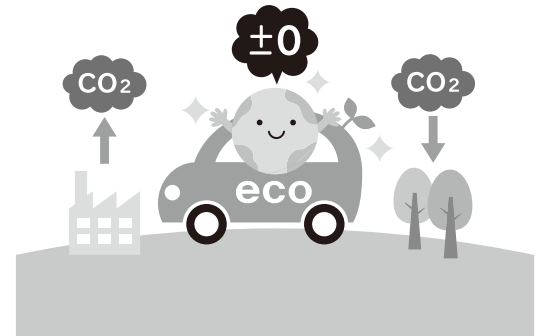


1 エゾシカの駆除増と捕獲従事者の育成及び鹿肉の有効活用について

- ① 有害駆除は、別海町の猟友会に協力をいただいているが、全国的な高齢化により猟友会の会員減少、捕獲従事者のなり手不足が課題となっていることから、別海町の現状と、捕獲従事者養成等の支援策を行なっているならばその状況を。
- ② エゾシカの越冬地対策として野付半島、走古丹地区で囲いわなによる生態捕獲を行なっているが、その稼働状況や運搬処理などで課題があれば。
- ③ 「囲いわな」の鹿は町外の業者に引き渡しているが、町内で有効活用することはできないか、町としての所感を。
- ④ 別海町内の事業者でも、鹿肉を食用として店で提供したり、ふるさと納税の返礼品として活用している事業者と協力して、今後、全国的に鹿肉の美味しさを広げていくために、そのPRなど取組が必要だと考えるが、町長の所感を。

【傍聴時の注意】

- 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- 談論し、放歌し、高笑いし、その他騒ぎ立てないこと。
- 飲食又は喫煙をしないこと。
- 携帯電話その他の音を発する機器は電源を切り、又は無音状態にすること。
- 傍聴席において写真、映画等を撮影し又は録音をしてはならない。
- その他議場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。



○ 登壇予定時間は前後することがありますので、あらかじめご承知おきください。
○ 質問の趣旨及び質問の全文は、別海町ホームページから検索するか、左の二次元コードを利用し、スマートフォンなどによりご覧いただくことができます。